

# 企業は今、君たちを求めている

## 4月27日、既卒・第2新卒対象の面接会

大阪新卒応援ハローワークは4月27日午後1時から、求職者と企業の出会いの場となるレギュラーマッチングブース（RMB）説明会・面接会を開く。今回は既卒者と第2新卒が対象となる拡大版。募集の業種・職種では、医薬品卸販売会社の営業職や、物流センターの運営管理業務、菓子製造職、プラスチック段ボールの企画・設計や溶剤、接着剤の営業職、人材派遣会社の企画営業職や人材コーディネーター、営業事務職など今のところ10社が参加する。いずれも未経験の若者を正社員として育てようとする会社だ。

拡大RMB

当日は午後1時、2時、3時、4時の計4回、説明会を実施。1回45分の完全入れ替え制で途中入室できないので注意を。参加者には開始前に、説明を聞きたい会社名を申し込み用紙に記入してもらう。履歴書は不要で、服装も自由。問い合わせは06（7709）9455へ。

## 事務や営業職、10社集結

大阪新卒応援ハローワーク

# 学ハロ大阪新聞

発行所  
厚生労働省 大阪労働局  
大阪新卒応援ハローワーク  
〒530-0017  
大阪市北区角田町8-47  
阪急グランビル18階  
TEL 06-7709-9455  
FAX 06-7709-9458  
http://osaka-young-site.mhlw.go.jp

### 第18号

2015年4月17日

f 大阪新卒応援ハローワーク



- 3 お悩み相談 「ESどう書けばいいの」
- 4 就職活動日記 空白の半年 貴重な経験

## 業種 職種 ブランド 待遇?

「企業研究とは具体的にどうすればいいの」「どんな仕事を選んだらいいのか、検討がつかない」。2016年3月卒の就職活動も本格化し、大阪新卒応援ハローワークの窓口では連日、こんな相談が寄せられている。本紙では、職業選択セミナーでの講義を中心に、仕事選びのポイントを2回に渡りお伝えする。

仕事選びのコツについて話す担当者（2015年4月14日）



## 職業選択 コツ伝授

### セミナー 業界の動向 敏感に

職業選びには2つの選択肢がある。業種で選ぶか、職種で選ぶか。職種で事務職を希望するならば、まずは事務の仕事とは何かを調べることだ。

例えば人事部。労務管理や採用活動、研修などを実施する経営の中枢部門だ。では、具体的にどんな仕事があり、どんな資質が求められるか。

業務管理では、就業規則の変更や勤怠管理を、賃金を巡り深夜に及ぶ労使交渉もある。新卒や中途の採用では、募集要項の作成から面接日程の調整連絡、内定者の囲い込みも。社員研修では講師の依頼からテキスト作りまで日々、煩雑な作業に追われる。会社説明会では、苦労する点は何か、どんな失敗があるのか、しっかりと仕事内容について尋ねよう。新人時代の苦い経験を語ってくれるだろう。総務や経理職も同じだ。業種では、例えば石油などエネルギー関連の仕事に興味があったとする。採用担当者は面接で「ウチはガソリンスタンドを経営しているが、どんな問題を抱えているか」と思

「記事、2面に続く」

れるのか。労務管理では、就業規則の変更や勤怠管理を、賃金を巡り深夜に及ぶ労使交渉もある。新卒や中途の採用では、募集要項の作成から面接日程の調整連絡、内定者の囲い込みも。社員研修では講師の依頼からテキスト作りまで日々、煩雑な作業に追われる。会社説明会では、苦労する点は何か、どんな失敗があるのか、しっかりと仕事内容について尋ねよう。新人時代の苦い経験を語ってくれるだろう。総務や経理職も同じだ。業種では、例えば石油などエネルギー関連の仕事に興味があったとする。採用担当者は面接で「ウチはガソリンスタンドを経営しているが、どんな問題を抱えているか」と思

「記事、2面に続く」

職業選択のコツは

会社説明会には積極的に参加しよう。採用担当者だけでなく、営業や管理部門の社員が説明に来るケースも多い。彼らが日々、どんな思いで仕事に取り組み、どんな人物を求めているか。生の声で社風

の一端が分かり、会社選びの参考になる。セミナーの参加を数えている銀行もあると聞く。しっかりとメモを取り、そこで感じたことを、志望動機に盛り込もう。

また、厚生労働省の「くるみん」は「存じだろうか。子育て支援に積極的な企業を国が認定している制度だ。育児休業の取得実績など働きやすさを重視する方は、くるみん取得企業を調べて欲しい。大阪労働局のHPに、取得企業の一覧がある。ぜひ参考に。

安定性を重視するなら売上高や経常利益、社員数、資本金、特許の有無などもチェックしよう。意中の企業の株価も新聞で見よう。株価は

企業の将来性を判断する上で良い材料になる。

次は労働条件だ。大事なものは社員採用かどうか。基本給や賞与、退職金制度の有無も調べよう。給与は当月払いか、翌月払いも重要だ。時

間外労働は月平均、何時間くらいあるのか。不動産や百貨店なら土、日曜や祝日は出勤だろう。また、募集人員では、事業拡大に伴う増員なのか、仕事がハードで離職者が多く、大量採用に走るのか。ハロー

ジャーナリスト・石渡さん、GD見学しコメントも



「就活のコノヤロー」などの著者で就職活動について全国紙で連載を持つジャーナリストの石渡嶺司さんが4月10日、大阪新卒応援ハローワークを訪れ、グループディスカッション（GD）のセミナーを聴講した。2グループの議論についてそれぞれコメントするなど就活生にアドバイスを送った=写真、右から二人目。

石渡さんは今年2月の業界研究カフェテリアで「ネット就活の限界」と題し講演。多くの就活生から好評を得た。この日のGDには、15人が参加し「『郊外の一軒家』か『都心のマンション』のどちらを選びますか?」「あなたが採用担当

者なら、どのような学生を採用しますか?」をテーマに話し合った。石渡さんは「声は大きく、積極的に議論に参加する姿勢が大切だ」と突破のコツをアドバイス。参加者は熱心に聞き入っていた。

ワークの学卒求人票には、離職者の数字も出ている。迷う点があったら、窓口で尋ねて欲しい。

そんな企業が、皆さんに求めているものは何だろうか。一つ目は基礎学力だ。学生の

本分はやはり勉強。大学卒に相応しい学力はあるか。二つ目はコミュニケーション能力。大学生なら指導力や折衝能力、相手をどう説得できるかという交渉力も重視される。

ここでいうコミュニケーション能力とは、第1に相手の言ったことをしっかりと聞ける、それを他人にしっかりと伝えられる能力だ。顧客の声を聞く、顧客ニーズを把握する。

傾聴力こそビジネスの基本である。第2は伝える能力だ。顧客と提案、提案できる力だ。「ウチの商品なら、お客様の問題点をこう解決できますよ」と具体的に説明できるか。企業が見ているのはこの点だ。（記事と写真は別の日のものです。次回は求人票の読み方について掲載します）

就職後、3年以内に離職の若者

7割、1年以内の早期退職

長時間労働、大阪労働局が対策班

就職後3年以内に離職した若者のうち、70%が1年以内に離職していたことが、大阪新卒応援ハローワークなどの調査で分かった。そのうち27%が、入社して3カ月から6

で重視した点や離職理由などを尋ねた。大阪新卒応援ハローワーク、大阪わかものハローワーク、あべの・わかものハローワーク、京都新卒応援ハローワーク、神戸新卒応援ハローワークが共同で実施し、平成26年8月1日から11月28日の間に、328人からアンケート結果を回収した。男性が141人、女性が175人、無回答は12人だった。

若者のうち、70%が1年以内に離職していたことが、大阪新卒応援ハローワークなどの調査で分かった。そのうち27%が、入社して3カ月から6

最初に就職する際に重視した点については、33%が「仕事内容」、18%が「業界」、15%が「社風」と続く。

カ月という早期に離職する傾向がある、という。大阪新卒応援ハローワークでは「会社選びは知名度やイメージで決まれないことだ。短期間で離職や転職を繰り返さないよう、給与や労働条件など分からない点があれば窓口でじっくりと相談して欲しい」と呼び掛けている。

主な退職理由（複数回答）では、26%が「仕事が終わらなかった」と答え、23%が「労働条件が違った」ことを上げている。このほか、11%が「人間関係」、10%が「雰囲気合わなかった」とし、スキルアップや転職も21%を占めた。一方、今後の転職に際し重視する点は、トップが「労働条件」で34%、「仕事内容」が31%と、いずれも3割を超えた。（3面に続く）

調査は大学院や大学、短大、専門学校などを卒業後、初めて就職した事業所を3年以内

に辞めた人が対象。企業選択

# 就活・お悩み相談

Q エントリーシートには何を書けばいいのですか？

## 私がどんな人物なのか、伝えて

「エントリーシート（ES）を書いたのですが、これでいいのかよくわからなくて…」。就職活動が本格化し、このような相談が窓口で増えています。

ESとは採用選考で最初に使われる応募書類の1つ。採用担当者と応募者の最初の接点でもあります。皆さんが採用担当者に「私がどんな人物なのか」を伝えるための書類です。「ぜひ、会ってみたい」と思わせる内容が書かれているか、重要なポイントといえるでしょう。

書き方のポイントは、採用担当者が知りたいこと＝私の人物像なのです。では、そこで大切な4つの視点について具体的に説明しましょう。

### ①自己PR。

長所、特徴（良さ）、能力。それらを仕事にどう生かすのか、生かせるのか。

### ②学生時代に力を入れて取り組んだこと。

何に力を入れて取り組んだのか。なぜそのことに力を入れたのか。上手くいかなかった時にはどう考え、どう行動したのか。どんな気付きや学び、成長があったのか。

### ③志望動機。

なぜその企業を志望するのか（事業説明にならないよう注意を）。志望する企業に興味を持ったきっかけ。どんな経験や能力を仕事に生かせるのか。どんな仕事がしたいのか。

### ④将来、成し遂げたいこと（将来の夢）。

企業や職種（仕事）に対する理解や熱意、意欲、価値観。この企業に入り、自分はどう成長したいのか、具体的に書く。

## 具体的なエピソード、交えて

採用担当者がESを通して把握したいのは、応募者の人柄や熱意、意欲、価値観、行動、姿勢です。これらを把握することで、皆さんが実際に働く姿をイメージします。この点を念頭に置き、自分を振り返ってください。

ESが書けない、書いた内容に自信が持てない理由は、自己分析の不十分さにあります。自分らしさとは何かが深掘されていないため、特徴が曖昧なまま、行った事実だけが綴られているのです。

では、具体的にどう伝えればいいのでしょうか。

自分が打ち込んだことについて、具体的なエピソードで語ることです。どんな気持ちで取り組み、どのように壁を乗り越えたのか。そのプロセスを書いてください。

例えば、管理栄養士を目指している女子大生のケース。「中学、高校と化学が苦手な欠点ぎりぎりの成績だった。だが、私には管理栄養士になる夢がある。だから大学では、苦手克服へ一念発起。小さなノートに間違えた問題を書き写し、片道2時間の通学時に、何度も何度も見直した▼教科書の余白には用語の説明を書き、ボロボロになるまで使った▼疑問点は理解し納得できるまで、何度も教授に食い下がった。この経験で、限られた時間を有効に、自ら工夫することで、苦手科目も努力すれば克服できると分かった。勉強で得たこの自信こそ、私の強みだ」とまとめました。

自分をよく見せようと「話を盛る」必要はありません。自分の強みは努力と工夫。それを伝えるエピソードが具体的だから、読み手である採用担当者に「なるほど、ご自身はこんな方なんですね」と伝わるのです。

相談窓口では、ESの添削を実施しています。ぜひ、第三者の評価を聞きましょう。他者が「私」をどう見ているか。面接官の視点を知る上で有効です。（JS 牛尾）

## 就活、一人で悩まず相談を

4月に入り、就職活動中の方、新入社員の方とリクルートスーツ姿を見かけることが多くなりました。学生の方は就職活動が本格化。また、新入社員の方は社会人として働き始め生活リズムも一変し疲れが出ているのでは。自分のペースで一つずつ進んでいきましょう。さて今号では就職活動を進める上でのポイントや就職後の早期離職の割合について掲載しています。せっかく入社しても早期離職をしては何もなりません。就職活動のことは一人で悩まず窓口の学卒ジョブサポーターに相談を。在職中の方も相談に応じています。お気軽にどうぞ。

また、同期入社がいなかった場合、36%が入社3カ月未満で離職。3〜6カ月では28%が仕事を辞めており「仕事の悩みを語り合える同僚は大切な存在。同期がいれば、辞めなくてすんだケースがあったかもしれない」と分析する。

一方、大阪労働局内に新設された「過重労働撲滅特別対策班」は長時間にわたる過重労働が行われ、違法行為やその疑いがある事案を取り扱う。大阪労働局では昨年11月、「過重労働解消キャンペーン」を実施。過労死による労災請求があった事業場を重点監督し、府内208事業場のうち

85%に当たる177事業場で違法な時間外労働や賃金の未払い残業など違反行為があった。違反行為が多かった事業場は、小売店などの商業が47事業場、製造業が30事業場。

■大卒の就職内定率は86・7% 厚生労働と文部科学両省は3月20日、平成27年3月に大学を卒業する学生の就職内定状況（平成27年2月1日現在）を発表した。就職内定率は86・7%と前年同期比で3・8ポイント上昇。平成20年3月以来、7年ぶりの水準になった。短期大学（女子学生のみ）は78・1%と同0・5ポイント増加した。

# 空白の半年、自分を見つめ直す機会

わたしの就活日記 18

不採用が続き半年間、会社説明会にも参加せず就職活動を休んだ。「やりたい仕事は何か」。長い空白期間の末、卒業式の2日前に内定した仕事は、6年間経験してきた接客業だった。「あの時期があったからこそ、自分は人と接する仕事が好きなんだ、と再認識できた」。自分がやりたい仕事に最後に巡り合った。その足跡を振り返る。

## ◆就活はいつから始めたか。

3回生の12月だ。梱包容器や可愛いリボンなどラッピングに興味があり、食品容器のメーカー5社を受けたが、すべて不採用だった。

## ◆大阪新卒応援ハローワーク(HW)への登録は早かったとか。

5月の合同企業説明会で、HWの人に声をかけられた。新卒の支援をしているとは知らなかった。当時は就活ナビを軸に活動していたが、エントリー者数が多く「これじゃ、選ばれるわけないよ」。ただ、私はいい意味でも悪い意味でも楽観的な性格。まあ、就職もいずれ決まるだろうと考えていた。

## ◆ところが、周囲が決まり出す一方、自分は不採用が続く。

50社超はエントリーした。ことごとくうまくいかない。何でやろ。不採用の企業には手帳に×を付けるがその度、やる気を失った。説明会も6月は2回参加しただけだ。

## ◆いわゆる「就活中断」だ。

面接はうまくいかないし。一方、人生最後の学生生活だし、こちらは楽しまなきゃ。もちろん就活は頭をよぎる。夏に1社、スプーンや皿を製造するギフトメーカーを受けた。面接も案外、順調に進んだ。この会社で働くイメージまで、できていた。だが、結果は不採用。ショックだった。その反動で夏は遊んだ。アルバイトに友人との旅行、軽音楽バンドでのライブ活動だ。高校から始めたケーキ店での接客は6年、経験した。

## ◆心底、落ち込まなかったのか。

楽観的な性格なんです。まだ8月だし、いけるよ。「夏までに」がダメなら「年内に」「卒業までに」と。思い詰めないですね。

## ◆やがて秋を迎えるも、会社説明会の参加はゼロ。

10月になると、卒業論文の準備

## 追手門学院大学心理学部 4回生女性

が忙しくなる。卒業できなければ元も子もない。テーマは「楽観主義者と悲観主義者では、観察力がどう違うのか」。通説は、楽観主義者は全体を敷衍して物事をみるが、悲観主義者は細部を見る。それを自分なりの質問用紙を作り数値化して分析した。サンプルは200人分集めねばならず、その作業に没頭した。12月はクリスマス。ケーキ店は大忙し。飾り付けや箱詰で作業は深夜に及ぶ。だから12月も就活はゼロ。年が明ける。再び卒論に全力。とにかく卒業せな、という思いだ。締切日までヒイヒイ言いながら毎日、大学に通った。就活に締め切りはないが、卒論には提出期限がある。



## ◆そんな卒論の重しが取れ、ようやく就活一本の生活に。

キャリアセンターからHWの学内相談会が2月にあるよ、と聞く。「あっ、そういえば以前、登録していたな」。さっそくJSから2社の紹介状をもらう。来所後は履歴書の添削を受けた。「この求人はご自身にぴったりですよ」と言われ「確かに」。面接対策では基本的な受け答えと、あいさつなど入退室での所作を再確認した。二人三脚で相談に乗ってもらった。

## ◆自動車ショールームでの接客事務の求人もその中にあった。

そうだ。自己PRを書きながら「私はやはり接客業が好きなんだ」と改めて思った。事務は休みが多いななど待遇面で選んでいただけ。

## 「人と触れ合う接客の仕事が好き」卒業式2日前に内定

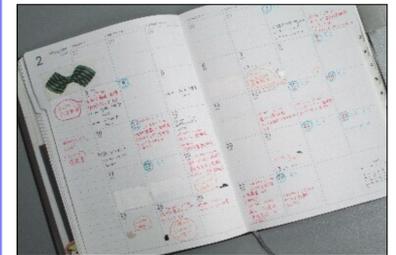
接客業は休みは少ないが、やりたい仕事だったことに気付いた。人と触れ合い、これまでの経験も生かせる。病院の受付もいいな、と。

## ◆本格的な会社説明会の参加は久しぶりだった。

8月の中旬以来、半年ぶりだった。久しぶりに就活仲間というか、ライバルを見た。

## ◆会社説明会はどうだったか。

「家族連れのお客様が再びご来店くださる雰囲気づくりを進めている」という話を聞き「いいな」。ただ、3月第2週の日程は面接でぎっしり。毎日、スーツを着ている自分に改めて驚く。ショールームの接客事務の試験では、店で扱



愛用した就活ノート

う車種の特徴や会社の方針について問題が出た。面接では6年間、笑顔を大切に接客してきた経験を伝えた。ショールームでの仕事のイメージについても聞かれた。

## ◆そして、応募した2社から偶然同じ日に、内定の連絡があった。

卒業式の2日前だ。これまで全くうまくいっていなかった就活なのに、本当に驚いた。嬉しかった。話が弾み手ごたえがあったのに不採用という経験もある。これで採用される、という確証は、最後までなかった。ただ、この空白期間がなければ接客業を選ばなかった。人と接するという接客の仕事が好きだから、この経験が生かせますと伝えた。お辞儀など立ち居振る舞いもしっかり確認し本番でもできた。自分にぴったりあった仕事を、最後につかんだ瞬間だった。